

広報

たし

昭和 39 年 9 月 号

人口の動き 7月末日現在の人口 6,795
8月末日現在の人口 6,795
男 3,281人 女 3,514人
前月より 男1人減 女1人増

編集と発行 鹿児島県肝属郡田代町役場

印刷所 鹿屋市共栄町新生社印刷所



台風14号のツメあと

被害総額は

一億円に

八月十二日発生した台風十四号は、近年にない話題と被害をもたらした。

十二日午後、マーカス島の北西海上で発生した台風十四号は、次第に勢力がおとろえ、十六日夕沖永良部島に接近したが、十七日には、東支那海へ抜け、九州本土への接近はまったくなくなった。といわれていた十四号台風も、

「Uターン台風十四号」「つむじ曲りの台風十四号」「どこへ行く出もどり台風」など、数々の新語を生みながら、千鳥足でゆつくり本土に上陸。

各所で住家、非住家の全、半かい水稻の倒伏、埋没、がけ崩れ、道路の決壊など大きな被害をもたらした。

中でも早期水稻の被害は大きく栽培面積の十三%が水につかり、流失、発芽、埋没のため収穫皆無というところもあり、平均して五六%の被害だと町当局では見ています。(十一号、十四号被害累計七〇%)

今年は、まだ、このような型の台風が数回本土に上陸、あるいは接近するのではないかと思われますので万全を期して台風対策をたてたいものです。

九月のこよみ
および行事予定

一日 二百十日

二日 中学校建設委員会(於役場)

三日 川原地区畜産品評会(上原野木場)

四日 民生委員会(於役場)

五日 官公署親善バレー大会(於田代小)

七日 婦人会長会(九、〇〇)

婦人学級(田代校区)

九日 営農青年クラブ発表会式

町畜産品評会、オリンピックク

聖火鹿児島着

十一日 国民健康保険運営委員会

十四日 大原小学校完全給食開始

十五日 としよりの日

十六日 定例議会

十九、二十日 県民体育大会(於

鴨池)

二十日 十五夜、彼岸の入り

田代高校運動会

二十三日 秋分の日

二十七日 田代中学校運動会

○竹下橋の架替へ工事はじまる。

(三四〇万円)

工事施行者 小梅校組

○通行止め、九月十五日より来年一月まで廻り道として天神道路あり。

経済振興 審議会が発足しました

本町においてはかねてより御承知の通り産業振興を目的として農林業関係に各種協議会、委員会を設け、それぞれ活動いたしておりましたが今回農業構造改善事業を主軸として産業経済の振興策をはかることと致しこの機会に従来の各種協議会に従来の各種協議会に発展的に解消して経済振興審議会を組織すべく去る三月の定例議会に条令を提案可決さ

九月下旬に
道路清掃作業は
九月下旬に
清掃作業を行い

民生課国保係の湯ノ谷サワ子は八月十七日付けをもつて総務課電話交換手に。同日付で、総務課電話交換手鶴園良子は、民生課国保係にそれぞれ異動がありましたのでよろしくお引きまわしください

役場人事異動

ます・台風十四号、十六号のため各所で嵐が吹き荒れたため、道路が荒れたりしていますので、今年も町民皆さまの御協力をお願いいたします。

建設課では、後日そのための計画書を作成し、各部落に通知します。

故猪鹿倉良蔵氏に勲七等

故横原正五郎氏に勲八等が伝達されました

昭和39年1月7日閣議決定に基く戦没者叙位叙勲にともなう勲章等が8月15日川原明昭寺で行なわれた戦没者追悼式の会場で町長より遺族に伝達されました。

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

今月の農事 スポット

飼料作物

1. 家畜カブ類(家畜カブ、ルタバカ)
豚、和牛の冬期の飼料として優れており、しかも作りやすく収量も多い。早期水稲後作に最も適している。
播種は9月上旬～10月下旬で、早まきほど収量が多いので早まきを進める。
2. 青刈りエンバクおよびコンモンベツチ(混播)
冬期に最も広く栽培されている青刈り飼料であるコンモンベツチは豆科のたん白質を多く含んでいるので青刈りえんばくと混播が望ましい。
コンモンベツチは、酸性土壌で生育が悪いので、苦土石灰の施肥が必要である。播種期は9月上旬～11月中旬である。
和牛1頭当たり5アール(5セ)以上の作付けがほしい。
3. イタリアンライグラス
えんばくと同様、冬期の青刈り飼料で作りやすく収量も多く耐寒性はえんばくよりも強い。カンショ前作として良く、カンショの収量も高まる。作式をカンショ畦中にイタリアンを播くと都合が良い。播種期は9月上旬～11月中旬である。
4. クローバー類
クローバーはたん白質に富んだ良い青刈り飼料であるが、酸性土壌では栽培困難であるから、苦土石灰を散布し、土じょうを改良してからまくようにする。播種期は9月中旬～11月上旬である。

———早期水稲の脱穀乾燥を早目に———

1. 穂発芽したものが非常に多いので、乾燥調整を特に入念に行い、できるだけ等級を良くしましょう。
2. モミスリの前に必ずトウミ選を行い被害粒を除き上位等級に入るようにしましょう。

普通水稲の管理

1. 穂首イモチ病の発生が予想されますので穂ぞろい期に、今一度水銀剤の散布を行いましょう。
2. 出穂後は秋ウンカの発生が多くなります。常に見まわって早期に発見し防除しましょう。

てん菜の管理

1. 間引きがおけると増収ができますので間引きは早目にしましょう。第1回は2～3葉期に、およその株間になるように間引きしましょう。第2回間引きは4～6葉期に株間20cmぐらいになるように行つて下さい。
2. 中耕、除草第1回は間引き完了後、浅く中耕し、除草も行いましょう。この際株元に土がかかりますと病気がでやすくなりますので注意して下さい。第2回は播種後1ヶ月頃、除草を主体にうね間の中耕を行う。
3. 追肥第1回は本葉7～8枚の頃(発芽後25日頃)硫安20K程度(10a当り)を施す第2回は第1回追肥後1ヶ月頃硫安20kg程度を施し株間の除草を行う。